

## 広島原爆記念日：日本はアメリカの役割を無視している

<https://www.rt.com/news/580913-hiroshima-anniversary-us-nuclear/>

RT (Russia Today)

August 6, 2023



日本政府関係者は、広島への核爆弾投下への第 78 回記念行事を行ったが、アメリカをその責任者として名指すことはなかった。ワシントンが核兵器を攻撃に使ったのは歴史上、たった 2 回にすぎないが、彼らはそれを言わず、想定される「核の恐怖」としてロシアを非難することを選んだ。

「日本は、戦争で原子爆弾の被害に遭った唯一の国家として、核のない世界への努力を続けます」と、岸田文雄首相は日曜日の演説で言った。そのような世界への道は「次第に難しくなりつつあります。なぜなら国際世界の分裂は、核武装の解消とロシアの核の脅威をめぐって深まりつつあるからです」と彼は加えた。

彼は、「核兵器によって広島と長崎にもたらされた悲劇は、いくら繰り返しても足りません」と言いつつも、最初のその攻撃を行った者たちの名をあげることは、なかった。

ある米空軍爆撃機が、1945 年 8 月 6 日、1 つの原子爆弾を広島上空に落とし、12 万 6000 人もの人々を殺したが、そのほとんどは民間人だった。もう 1 つの核爆弾が 8 月 9 日、長崎市の上空で爆発し、8 万人もの人々が殺され、ほとんどすべてが民間人だった。日本は 1 週間後に連合国に降伏し、第 2 次世界大戦を終結させた。

日曜日の演説で広島市の松井一実市長もまた、この爆撃の下手人の名をあげることを避けた。松井は世界の指導者たちに対し、「現在、ある政策決定者たちによって口にされている、核の脅迫の現実には直面せよ」と呼びかけた。これもまた明らかにロシアへの言及である。

国連事務総長アントニオ・グテーレスは、「核兵器が広島を灰にした」と発言したが、誰がその創られた装置を落としたかは言わなかった。「そしてある国家は、無謀にも再び核のサーベルをガチャツかせ、こうした人類絶滅の道具を使おうと威嚇している」とつけ加え、それ以上は言わなかった。

日本は、アメリカ軍がその領土を占領し、核爆弾の余波の残っている間に憲法を書かせて以来、ずっとアメリカの同盟国であった。岸田はモスクワに対して制裁を課し、他の G7 指導者たちと共に、クレムリンを「無責任な核レトリック」と「兵器統制計画を覆すもの」だとして非難した。

アメリカの核政策は、「アメリカと他の同盟国やパートナーの、急所的な利益を護るために」核による先制攻撃を許すとしているが、それとは対照的に、ロシアの核戦略は、その領土への先制攻撃があった場合、またはロシア国家の存在が、核または通常兵器によって脅威にさらされた場合にのみ、原子爆弾の使用が許されている。

ロシア領土内の原子力発電所への、ウクライナの度重なる攻撃にふれながら、モスクワは、先月、西側が「核テロリズム」を実行していることを非難した。

### 【訳者 Greatchain 注】

これは一字一句、その通りである。ロシアの公的発言がいつもそうであるように、それは冷静で、ここに訂正すべき箇所は一つもない。これに対して、日本やその同調者はどのように言っているか？ それは控えめに言っても異常で、その発言はいつも「取り乱して」いる。そして「病膏肓（こうこう）に入る」という言葉の通りに、その病状は膠着して動かないかのようなものである。まず Russophobia（恐露病）という馬鹿げたものを（アメリカから）吹き込まれている。そして、あたかもロシアを痛めつけるためなら何でもします、と言わんばかりに、アメリカを全面的に信頼している。すなわちアメリカを世界の善悪の標準として生きて行けば、間違いないと信じている。——それが我々の政府の本音であることが、今、明かになった。

これはあまりにも馬鹿げている。百歩譲って、アメリカの原爆投下が、日本を懲らしめるために、あるいは戦争を終わらせるために、やむを得なかったという宣伝を信ずるの

は、仕方がなかったとしよう。しかしその後の4半世紀間、我々は何をしていたのか？特にこの世紀が始まってから何を見ていた？我々はアメリカの正体について何も学ばなかったのか？——そこでその質問に対する回答が与えられる。我々はアメリカについても、ウクライナやロシアについても、またトランプについても、「ワクチン」についても、何も質問するなという指令を、メディアと一体の政府から与えられている。

こういう指令を、国民に対して暗に差し向ける政府は、悪なる政府である。我々を支配するアメリカが密かに企んでいる「巨悪」に沈黙することを奨める国家は、我々を滅ぼそうと企んでいる国家である。——我々はそう解釈せざるを得ない。

**参考資料：「ロシア外務省が日本大使館に抗議、〈望ましくない団体〉に日本が会合の場を提供」**（スプートニク日本、8/7）

ロシアは7日、「ロシア後の自由な民族フォーラム」（ロシアでは「望ましくない団体」に指定）の会合のために日本政府が公式にフィールドを提供したとして、在モスクワ日本大使館に対し、断固として抗議を申し入れた。ロシア外務省は、日本政府がこの扇動的行為を繰り返した場合、ロシアとしてはこれに応える措置をとると言う姿勢を明確にした。